

まちを歩くことで、気づかなかつたりわいやお店の歴史にふれ合うことができます。トランジットモールでのんびりとゆったりと秋のこみせ通りをお楽しみください。

① 西谷家



西谷家住宅は、大正2年に弘前にある造り酒屋を現在の地に移転して建てられたと言われています。こみせ側の板塀が上下に開く蔀戸（しとみど）や、切妻造り、妻入りの木造家屋に伝統的形式を見ることができます。現在は古い民具、代々使われてきた食器や調度品などを展示して市認定の「こみせ美術館」となっています。

② 第三部屯所



大正13年に建築された、大正レトロな雰囲気を感じさせる木造2階建ての建物です。建築当初は2階にパルコニーを設けていましたが、昭和3年にノーザン式消防自動車の配備により取り外されました。この消防車は現在もまだ活躍し、現役としては日本で最古の消防車になっています。

③ 寺山餅店



創業は今から約190年前、江戸時代から続く老舗の餅店です。人気商品の「抹茶くりいむ大福」や「黒石やきそば大福」のほか、昔から津軽地方でおやつとして食べられていた「四半餅（しはもち）」を作り続け、江戸時代から伝わる「餅文化」を、今も絶やさずに守っています。

④ 高橋家



屋号はおもに米を扱っていたことから「米屋」といい、ほかにも味噌、醤油、塩などの製造や販売をしていた黒石藩御用達の商家です。その歴史は約270年前にまでさかのぼり、当時のまま残された建築は国指定重要文化財になっています。現在は喫茶店としておいしいコーヒーを楽しむことができます。

⑤ 中村亀吉



大正2年創業の造り酒屋。昭和61年放映のNHK大河ドラマ「いのち」（原作：橋田壽賀子）の舞台にもなった建物は、大正12年築で、切妻壁の意匠や看板、酒林（杉玉）、二間の通り土間などに大正時代の堂々とした造り酒屋の面影を残しています。現在は「亀吉」のブランドで広く知られています。

⑥ こみせ駅



こみせ通りにある物産販売所。店内には観光情報や黒石ならではのお菓子、各種お土産品が揃い、まち歩きの拠点となっています。奥の広場には南八甲田山系からの伏流水が湧き出る井戸「小見泉」があり、ミネラルたっぷりの水は、お茶や炊飯のために近隣から毎日汲みに来るほどの人気です。

⑦ 嘴海醸造店



約200年ほど前から続く、老舗の造り酒屋です。創業以来屋号は「稻村屋」、当主は「文四郎」を名乗り、現在は6代目となります。主屋は創業以前からの建物で、約200年以上経過しています。また明治時代に築庭された庭園は「大石武学流」の様式で、国の登録記念物となっています。

こみせの小径マップ

トランジットモール実験事業 2014

[期間]

10月25日(土)・26日(日)
11月2日(日)・3日(月)
いずれも10:00～15:00まで

主催／黒石商工会議所

スタンプラリー開催！

うら面の三ヶ所に設置してあるスタンプを集めてトランジットモール本部までお持ちください。粗品を進呈いたします。

西谷家
スタンプを
押してね

かぐじ広場
スタンプを
押してね

嘴海醸造店
スタンプを
押してね

トランジットモールとは

バスなどの公共交通以外の一般車両を通行制限することで、歩行者や自転車のための空間として開放したスペースのことです。中心商店街の回遊性の向上や安全で快適なにぎわい空間の創出を図るために、中町こみせ通りにトランジットモールを設け、社会実験を行うこととしました。